

動詞の活用

動詞の活用とは、「動詞の機能を実際の言語表現活動で活かして用いること」です。

動詞活用表

動詞を活用するために、動詞に直接付加する要素(付加形態素)を表にしたものを動詞活用表といいます。実用性を配慮した拡大活用表(次ページ)もあります。

表S1-2 動詞活用表 (動詞に直接に付加する形態素の表)

付加形態素の機能		詞	付加形態素 (語幹 nom- / tabe-)	付加形態素の名称	旧名称
構造の形を変えない	(1) 文を終止する	描写詞	k① -(r)u	基本描写詞	終止形
			k② -e / -ro	命令描写詞	命令形
			k③ -(y)oo	意志・推量描写詞	(未然形)
	(2) 主文を続ける	描写詞	k④ -(i)	中止描写詞	連用形
			k⑤ -(r)eba	条件描写詞	(仮定形)
	(3) 他属性や実体と関連づける	描写詞	k⑥ -(i)	他属性連続描写詞	連用形
			k⑦ -(r)u	実体修飾第1描写詞	連体形
			k⑧ -(i)	実体修飾第2描写詞	連用形
	構造に付加する	(4) 否定する	否定詞	k⑨ -(a)na.k-	否定詞
(5) 態を構成する		態詞	k⑩ -(s)as-	原因態詞	(未然形)
			k⑪ -(r)ar-	受影態詞	(未然形)
			k⑫ -e-	許容態詞	なし

旧名称の欄で () 内のものは形態の一部しか該当しないことを表します。k⑩k⑪は動詞の主体(主語)が変化します。k⑫でも変化する場合があります。

表S1-3 従来の動詞活用表 (参考)

動詞	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
飲む	の	ま／も	み／ん	む	む	め	め
食べる	た	べ	べ	べる	べる	べれ	べろ

動詞の拡大活用表

実用性を考えて、拡大活用表を作ると便利です。内容は目的により変化します。

表S1-4 拡大活用表(動詞に二次的に付加する形態を含む表)の例

付加形態素の機能		付加形態素表 (語幹 nom- / tabe-)	拡大活用表(例) (二次的付加形式を含む)	語例 (形態の名称は省略)	
構造の形を変えない	(1)文を終止する	k① -(r)u	-(r)u	飲む。	
		k② -e / -ro	-e / -ro	飲め。	
		k③ -(y)oo	-(y)oo	飲もう。	
	(2)主文を続ける	k④ -(i)	-(i)	飲み、	
		k⑤ -(r)eba	-(r)eba	飲めば、	
		k⑥ -(i)	-(i) -(i)=te-Øi -(i)=t-Øi=ar-u -(i)=t-Øi=ar-a(ba) -(i)=t-Øi=ar-i -(i)=mas-u -(i)=mas-en -(i)=mas-yoo -(i)=nagara	飲み[始める] 飲んで 飲んだ 飲んだら(ば) 飲んだり 飲みます 飲みません 飲みましょう 飲みながら	
	k⑦ -(r)u		-(r)u -(r)u=Ø包-to -(r)u=Ø包-n包=ar-a(ba)	飲む[人] 飲むと 飲むなら(ば)	
	k⑧ -(i)		-(i)	飲み[かた]	
	構造に付加する	(4)否定する	k⑨ -(a)na.(k)- (注)	-i -i=Ø包-de -i=Ø包-de=(ar-i=ma)s-u -u=te-Øi -u=ar-oo -u=ar-i=t-Øi=a-Øu	飲まない 飲まないで 飲まないです 飲まなくて 飲まなろう 飲まなかった
k⑩ -(s)as-				-(s)as-u -(s)as-e-ru -(s)as-ar-e-ru	飲ます 飲ませる 飲まされる
k⑪ -(r)ar-				-(r)ar-u -(r)ar-e-ru	飲まる 飲まれる
	k⑫ -e-	-e-ru	飲める		

(注) k⑨はスペースの関係で「拡大活用表例」の欄において-(a)na.(k)-を省略してあります。